

## 会社情報

### 会社概要 (2023年3月31日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,102名

### 役員(取締役・監査役)及び執行役員 (2023年4月1日現在)

代表取締役社長	加藤 和 弥	執行役員	小野 聡
専務取締役	山中 謙 一	執行役員	明石 誠
常務取締役	太田 尚 史	執行役員	和田 陽 一
常務取締役	中村 考 直	執行役員	金子 潤 一
常務取締役	菅 公 博	執行役員	松村 努
取締役	日比 啓 介	執行役員	井原 太 郎
取締役	打田 雅 俊	執行役員	中谷 勤
取締役	次家 成 典	執行役員	松浦 博 幸
取締役	大西 高 司	執行役員	山下 章
社外取締役	八十川 祐 輔	執行役員	高瀬 健 治
社外取締役	海 保 理 子		
社外取締役	青木 英 彦		
常勤監査役	中島 嘉 幸		
社外監査役	山村 幸 治		
社外監査役	森内 茂 之		

### 主要グループ会社 (2023年3月31日現在)

事業内容	会社名
国内	低 温 ◎ケイ低温フーズ株式会社
	酒 類 ◎三陽物産株式会社
	◎ヤタニ酒販株式会社
	菓 子 ◎カトー菓子株式会社
	◎株式会社植嶋
海外	マレーシア ◎Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.
	◎Merison (M) Sdn. Bhd.
	シンガポール ◎Naspac Marketing Pte. Ltd.
	ベトナム ◎Song Ma Retail Co., Ltd.
◎Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.	
◎Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	
中 国 ○上海加産貿易有限公司	
△深圳華新創展商貿有限公司	
物 流	◎マンナ運輸株式会社
	◎カトーロジスティクス株式会社
メーカ	◎和歌山産業株式会社
	○兵庫興農株式会社
外 食	○株式会社アドバンスキッチン
	◎加藤不動産株式会社
そ の 他	◎加藤SCアジアインベストメント株式会社

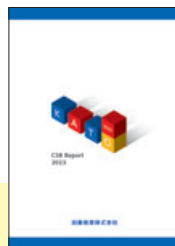
◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

### 「CSR報告書」発行

毎年1回、当社グループのCSR(企業の社会的責任)への取り組み状況をまとめた「CSR報告書」を発行しております。当社グループのサステナビリティの基本方針や4つのマテリアリティ(重要課題)ごとの目指す姿・中期目標、推進体制を掲載しております。

詳細データ等は、当社ウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.katosangyo.co.jp/csr/report/>



## 株式情報 (2023年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株*
株 主 数	7,936名(内、単元株所有者数: 7,499名)

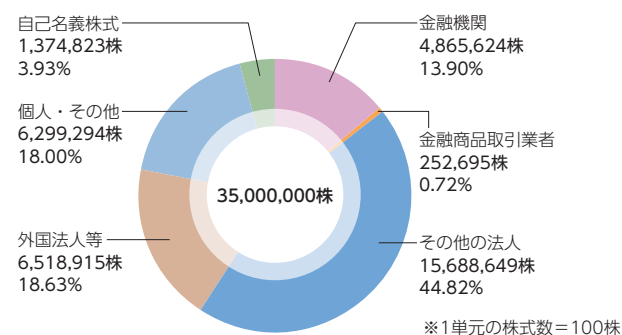
\*2023年3月31日に、当社普通株式の内3,153,115株(消却前の発行済株式の総数に対する割合: 8.3%)を消却いたしました。

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,248	9.66
三井物産株式会社	3,153	9.37
三菱商事株式会社	1,787	5.31
株式会社プラスダブル	1,280	3.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	882	2.62
株式会社加藤興産	850	2.52
キューピー株式会社	841	2.50
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.49
カゴメ株式会社	731	2.17
JP MORGAN CHASE BANK 385632	714	2.12

(注)1. 当社は自己株式1,374,823株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
(注)2. 持株比率は自己株式(1,374,823株)を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



### 株主メモ

事業年度 10月1日~翌年9月30日

期末配当金受領株主確定日 9月30日

中間配当金受領株主確定日 3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年12月

株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特 別 口 座 管 理 機 関

同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777

電子公告の方法により行う

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

※公告掲載URL

<http://www.katosangyo.co.jp/irinfo/>

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



加藤産業株式会社  
<http://www.katosangyo.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



# 第77期 第2四半期(中間)報告書

2022年10月1日から2023年3月31日まで



証券コード: 9869

JQA-EM4237

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第77期第2四半期(中間)決算につき、その概要をご報告申し上げます。

食品流通業界におきましては、消費者の食生活や購買行動の多様化が進むとともに、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、コロナ禍からの経済活動の正常化の中で、原材料価格も含めた仕入価格やエネルギー価格等の大幅なコストアップに、円安の影響も加わり、商品の値上げに歯止めがかからない状況が続いております。また、商品の値上げ等により家計への負担感がさらに増すことで、日常生活関連消費については生活防衛意識が一層強くなると予想されます。そして、コロナ禍からの行動制限解除により外食関連需要に回復傾向が見られる一方、家庭内消費に関する需要は堅調ではあるものの、物価上昇に伴う節約志向の進行による消費マインドの冷え込みが顕在化してまいりました。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである「豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること」を目指して、デジタル技術の活用も含めた取引先との取組み強化、業務の見える化・見直し及び生産性向上に取り組み、付加価値を高める営業活動・業務活動を進めてまいりました。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・ベトナム・シンガポール・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の強化を進めてまいりました。

そして、2023年4月にはベトナムの食品卸売会社であるNam Khai Phu Service Trading Production Joint Stock Companyの株式を取得して連結子会社とし、同国において確固たる卸売業グループとなることを目指すとともに、今後も東南アジアを中心に海外事業全体のさらなる拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、既存得意先を中心とした取引の増大に加えて、外食関連需要の回復による取引の増加もあり、5,445億31百万円、営業利益は88億77百万円、経常利益は98億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は64億27百万円となりました。

なお、中間配当金は、当初予想を修正し1株につき4円増配の47円とさせていただきます。また、2023年9月期末につきましても、当初予想を修正し1株につき4円増配の50円を予定しており、年間配当予想は97円となります。

通期の見通しにつきましては、ウィズコロナの下での社会経済活動の正常化に向けた動きの中で、物価上昇に伴う節約志向の進行による消費マインドの冷え込みや、コストアップの影響等、依然として不透明感が強いものの、第77期計画の達成に向けて邁進いたします。

株主の皆さまにおかれましては、時節柄くれぐれもお身体ご自愛いただきますとともに、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 加藤 和 弥

営業収益	5,445億31百万円	前年同四半期比 5.7%増加
営業利益	88億77百万円	前年同四半期比 26.4%増加
経常利益	98億4百万円	前年同四半期比 21.5%増加
親会社株主に帰属する四半期純利益	64億27百万円	前年同四半期比 22.2%増加



# News Close-up

ニュース クローズアップ

## 当社「カンピー」ブランドから、 新ブランド『カンピー ザ・プレミアム』誕生

自社ブランド商品「カンピー」から、『食卓が華やぐ、最上級の商品を提供する』という新しいブランドメッセージを含めた、『カンピー ザ・プレミアム』が誕生。当社が「カンピー」ブランドの中で最もこだわりを持っているカテゴリ『ジャム・スプレッド』から計4品を、2023年3月1日より全国にて販売開始いたしました。



### カンピー ザ・プレミアム 果実の贅沢 (3種のいちごジャム・3種のマーマレード) 各185g



厳選した3種の果実を贅沢に使用し、最適な配合でブレンドしました。甘味・酸味・香り・色合いなど、果物本来のおいしさを味わうことのできるジャムです。

### カンピー ザ・プレミアム とろける贅沢 (宇治抹茶クリーム・濃厚バニラクリーム) 各150g



素材と製法にこだわり、プレミアムアイスクリームのようななめらかな食感を実現した、贅沢感のあるスプレッドです。

## 加藤産業のサステナビリティへの取り組み

当社は、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長に向けて、サステナビリティ基本方針を策定し、マテリアリティ(重要課題)の特定と目指す姿・目標を設定いたしました。

### <基本方針>

加藤産業グループは、「豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること」というミッションを通して、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を目指します。そのために、4つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、これらの解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

マテリアリティ	目指す姿	2030年目標
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン全体の脱炭素のために、生産者から消費者までの全体最適を実現する</li> <li>省エネルギー、創エネルギー、非化石エネルギーの調達、カーボンオフセットの活用により、カーボンニュートラルを達成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量の削減 2021年度比 30%削減</li> </ul>
フードロス & ウェイスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭用食品の廃棄量を削減するために、サプライチェーン全体を最適化するプラットフォームを構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄金額 2021年度比 50%削減</li> <li>返品金額ゼロ</li> </ul>
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷を低減するために、石油から新たに作られるプラスチックや、適切に管理されていない森林由来の紙資源を使用しない流通システムを構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流資材における代替プラスチックへの移行とプラスチック類の再資源化100%</li> <li>すべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮</li> </ul>
多様な人財の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な能力、価値観を持った人財が、それぞれの立場で活躍できる会社となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女の固定的な役割分担意識や処遇における不平等を解消し、男女ともに安心して働き続けられる職場環境を全員で作り上げる</li> </ul>

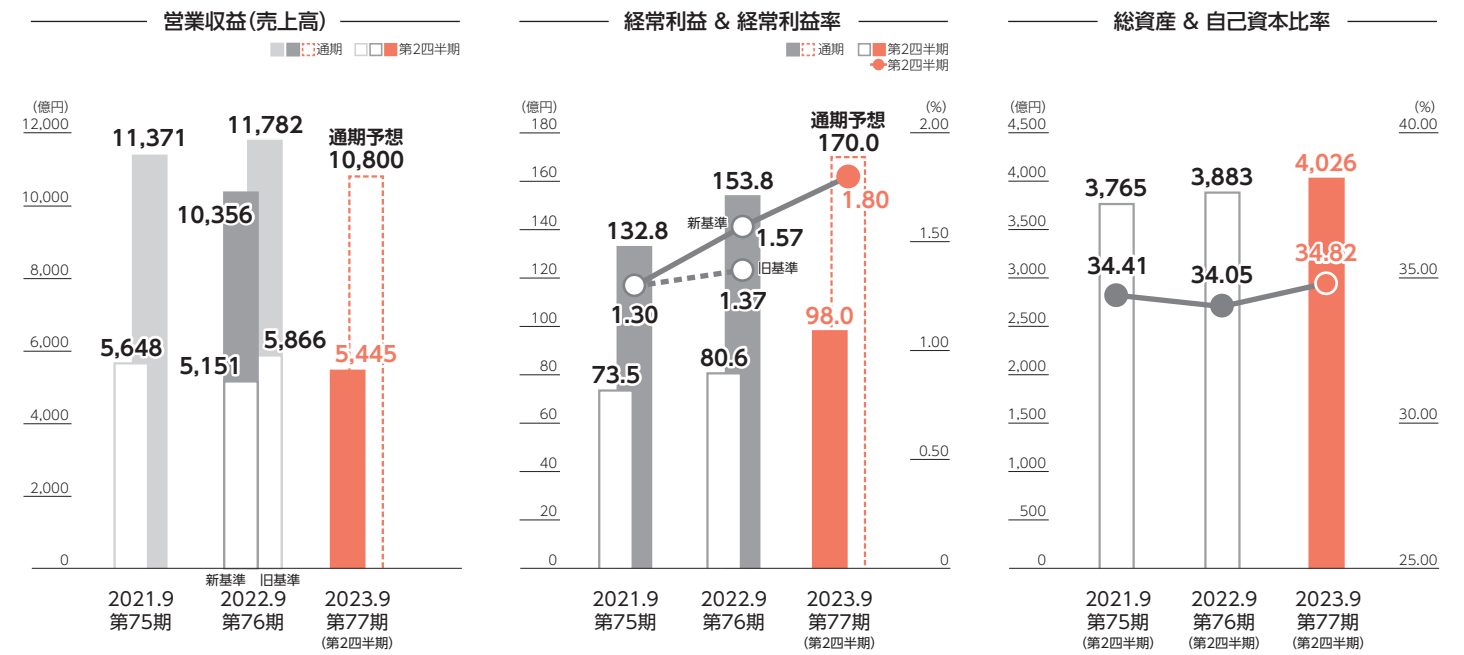
※「目指す姿」の達成時期は、当社が100周年を迎える2047年を想定しております。

## 主要な事業の概況

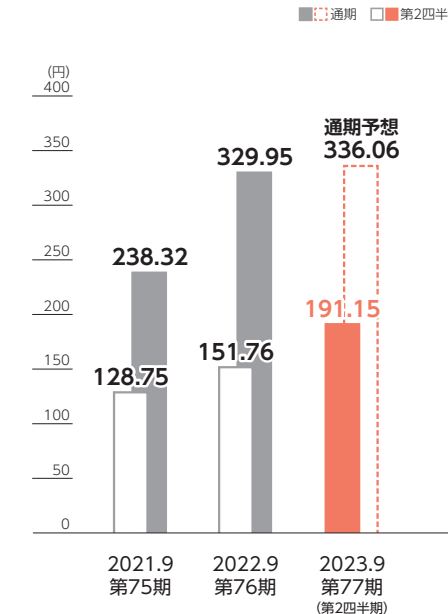
	常温流通事業	低温流通事業	酒類流通事業	海外事業
営業収益	3,378億16百万円 (前年同四半期比3.0%増加)	555億25百万円 (前年同四半期比2.7%増加)	1,127億74百万円 (前年同四半期比8.8%増加)	366億85百万円 (前年同四半期比32.3%増加)
営業利益	67億66百万円 (前年同四半期比12.0%増加)	5億41百万円 (前年同四半期比66.5%増加)	10億10百万円 (前年同四半期比70.8%増加)	2億5百万円 (前年同四半期は営業損失1億93百万円)

※営業収益及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。  
※営業利益は、のれん償却費を含んでおります。

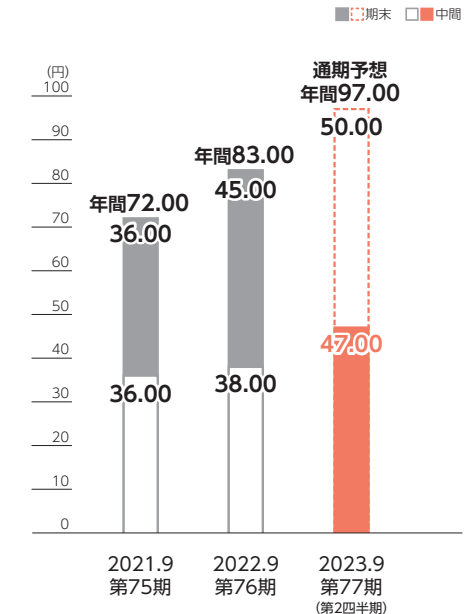
## 連結財務・業績ハイライト



### 1株当たり四半期(当期)純利益



### 1株当たり配当金



### 第77期通期予想

営業収益	1兆800億円	前期比 4.3%増加
経常利益	170億円	前期比 10.5%増加
配当金	97.00円	前期比 14.00円増加

※2022年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用いたしました。また、同会計基準等の適用に伴い、表示名称を「売上高」から「営業収益」に変更しております。  
※2023年5月2日に2023年9月期の業績予想並びに配当予想を修正いたしました。詳細については、開示資料(第2四半期累計期間及び通期の業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ)をご参照ください。